

< 2 2 - 0 3 >
2 0 2 2 年 0 2 月

先生各位

新規受託開始のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。
このたび、下記検査項目につきまして新規受託を開始いたしますのでご案内いたします。
何卒、ご利用賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

■新規受託項目:

- | | |
|-----------------------|---------------|
| ・抗カルジオリピン抗体 IgG | [項目コード: 4111] |
| ・抗カルジオリピン抗体 IgM | [項目コード: 4112] |
| ・抗β2グリコプロテイン I 抗体 IgG | [項目コード: 4113] |
| ・抗β2グリコプロテイン I 抗体 IgM | [項目コード: 4114] |

■新規受託開始日:

2022年 2月 14日(月)受付分より

<ご案内>

- ・項目コードが新規登録のため、電子カルテ・健診システム等をご利用の際は、お使いのメーカーのサポート窓口へ項目紐付けの依頼をご連絡ください。
- ・抗リン脂質抗体(APL)パネル検査(4抗体同時測定)(項目コード: 4067)も受託しておりますので、ご利用ください。

以上

※ 裏面をご覧ください。

●抗カルジオリピン抗体・抗β2グリコプロテイン I 抗体

抗カルジオリピン抗体と抗β2グリコプロテイン I 抗体はリン脂質あるいはリン脂質と蛋白の複合体に対する自己抗体の1つであり、その総称を抗リン脂質抗体(aPL)と言います。

血中のaPLが原因となって、さまざまな部位の動・静脈血栓症、習慣流産などの妊娠合併症をきたす指定難病の1つである抗リン脂質抗体症候群(APS)の診断は、2006年示されたAPS国際分類基準(サッポロクライテリア・シドニー改変)に基づいて行われています。

この検査基準では、ループスアンチコアグラント、抗カルジオリピン抗体 IgG・IgM、抗β2グリコプロテイン I 抗体 IgG・IgMのうち、いずれかが12週以上の間隔で2回以上陽性的の場合、APSであるとしています。(抗カルジオリピン抗体、抗β2グリコプロテイン I 抗体は、健康人の99%タイトル以上を陽性とする。)

このたび、本検査がAPSの診断補助を使用目的として保険適用されましたので、受託を開始いたします。

●なお、現行の抗カルジオリピン抗体IgG(項目コード:2438)と抗カルジオリピン抗体IgM(項目コード:1476)は、APS国際分類基準に準じた新規検査への統合のため、2022年3月31日(木)受付分をもちまして検査受託を中止させていただきます。国際分類基準に合致した新規検査への切り替えまたは、抗リン脂質抗体(ALP)パネル(項目コード:4067)のご依頼を推奨いたします。

	新規受託開始項目	現行検査項目
項目コード	4111	2438
検査項目名	抗カルジオリピン抗体 IgG	抗カルジオリピン抗体 IgG
検査方法	EIA法	ELISA法
検体量	血清 0.5 mL	血清 0.5 mL
採取容器	汎用容器(分離剤入り) 容器番号:01	同左
保存方法	冷蔵	同左
基準値/単位	12.3 以下 U/mL	10 未満 U/mL
報告範囲	4.0未満 ~ 120.0以上	8以下 ~ 120以上
報告桁数	小数第1位	整数
報告日数	2 ~ 6 日	同左
保険点数/判断料	232点/免疫学的検査判断料(144点)	
	本検査と抗カルジオリピンβ2グリコプロテインI複合体抗体及び抗リン脂質抗体検査(4項目同時測定)の検査のいずれか2つ以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。	

	新規受託開始項目	現行検査項目
項目コード	4112	1476
検査項目名	抗カルジオリピン抗体 IgM	抗カルジオリピン抗体 IgM
検査方法	EIA法	ELISA法
検体量	血清 0.5 mL	血清 0.5 mL
採取容器	汎用容器(分離剤入り) 容器番号:01	同左
保存方法	冷蔵	同左
基準値/単位	20.8 以下 U/mL	8 未満 U/mL
報告範囲	2.5未満 ~ 80.0以上	1未満 ~ 80以上
報告桁数	小数第1位	整数
報告日数	2 ~ 6 日	同左
保険点数/判断料	232点/免疫学的検査判断料(144点)	
	抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として測定を行った場合は、一連の治療につき2回に限り算定する。なお、本検査と抗カルジオリピンβ2グリコプロテインI複合体抗体及び抗リン脂質抗体検査(4項目同時測定)の検査のいずれか2つ以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。	

	新規受託開始項目
項目コード	4113
検査項目名	抗β2グリコプロテインI抗体 IgG
検査方法	CLEIA法
検体量	血清 0.5 mL
採取容器	汎用容器（分離剤入り） 容器番号：01
保存方法	冷蔵
基準値／単位	0.7 未満 U/mL
報告範囲	0.7未満 ～ 150.0以上
報告桁数	小数第1位
報告日数	2 ～ 5 日
保険点数/判断料	232点/免疫学的検査判断料（144点）
	抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として測定を行った場合は、一連の治療につき2回に限り算定する。なお、本検査と抗カルジオリピンβ2グリコプロテインI複合体抗体及び抗リン脂質抗体検査（4項目同時測定）の検査のいずれか2つ以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

	新規受託開始項目
項目コード	4114
検査項目名	抗β2グリコプロテインI抗体 IgM
検査方法	CLEIA法
検体量	血清 0.5 mL
採取容器	汎用容器（分離剤入り） 容器番号：01
保存方法	冷蔵
基準値／単位	17.5 以下 U/mL
報告範囲	0.4未満 ～ 300.0以上
報告桁数	小数第1位
報告日数	2 ～ 5 日
保険点数/判断料	232点/免疫学的検査判断料（144点）
	抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として測定を行った場合に、一連の治療につき2回に限り算定する。なお、本検査と抗カルジオリピンβ2グリコプロテインI複合体抗体及び抗リン脂質抗体検査（4項目同時測定）の検査のいずれか2つ以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

【ご参考】抗リン脂質抗体 (APL) パネル

本検査は主要なaPLをアイソタイプ別にパネル検査として抗カルジオリピン抗体IgGとIgMおよび抗β2GPI抗体IgGとIgMの4項目を同時に測定するもので、2020年7月に保険適用となりました。これにより、国際血栓止血学会が定める分類基準および難病情報センターが定める診断基準に沿った検査が可能となり、これらを一連で測定することはAPSの診断に有用と考えられます。

項目コード	4067
検査項目名	抗リン脂質抗体 (APL) パネル
検査方法	CLIA法
検体量	血清 0.6 mL
保存方法	凍結
基準値 / 単位	20.0 以下 U/mL
報告下限値	抗CL IgG : 2.6 未満 抗CL IgM : 1.0 未満 抗β2GPI IgG : 6.4 未満 抗β2GPI IgM : 1.1 未満 ※4種の抗リン脂質抗体をご報告いたします
報告桁数	小数第1位
報告日数	3 ~ 5 日
保険点数 / 判断料	696点 / 免疫学的検査判断料 (144点) ・抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として、抗カルジオリピン抗体および抗β2グリコプロテインI抗体の測定を行った場合に、抗カルジオリピン抗体の所定点数の3回分を合算した点数を準用して一連の治療につき2回に限り算定する。 ・抗カルジオリピンβ2グリコプロテインI複合体抗体、抗カルジオリピン抗体及び抗リン脂質抗体検査 (4項目同時測定) の検査のいずれか2つ以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。